

すぎのめ

地域包括支援センターだより
令和6年4月発行 No22 発行元:杉妻地域包括支援センター

伏拝町内会様に支え合い認定書授与



伏拝町内会の役員の方々に認定書をお渡しました

以前にすぎのめだよりで取材させていただきました伏拝のリサイクル回収活動が、福島市の「暮らしの中の支え合いお宝」として認定されました！

「特別な事ではない」という地域への想いは、地域の力として雨の日も雪の日も続けられています。



活動中の六人の方々

～茶を介して、集い、楽しみ、気にかけて～

あさひ台 茶友会



あさひ台では毎月第2水曜日、会員7名からなる『茶友会』が開催されています。茶道の流派は350年以上続く『宗偏流』。先生は「自分の地域でもできないかしら？」と思い、町内会のお友達に声をかけ、会を始めてから20年以上経過しています。

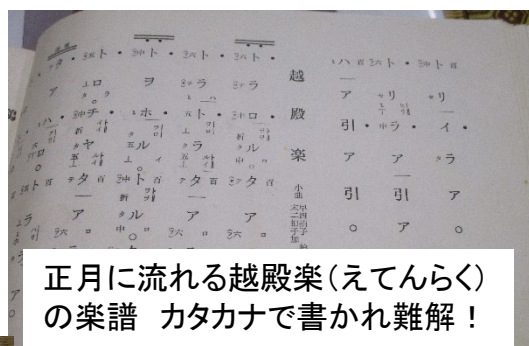
この間、東日本大震災やコロナ禍を経験しましたが、会員全員で「どうやったらできるか」を話し合いながら、現在までお稽古を続けてきたそうです。

通いの場・集いの場・楽しみ場・気にかけての場となっている『茶友会』。皆で会話をしたり、楽しみつつも真剣にお稽古に取り組んだり、身体面を気にかけて役割分担をしたりと、相手への敬意と思いやりを各々から感じることができる、とても素敵な会でした。

ときの人 シリーズ13 特別編 黒岩春日神社雅楽部の皆さん



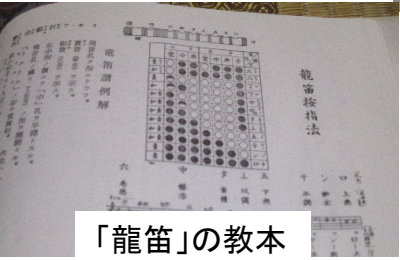
黒岩地区で40年以上続く「黒岩春日神社雅楽部」を取材させていただきました。昭和23年に結成、52年頃の活動は稚児舞（六才位までの幼児が社寺の神事などで踊る舞い）が主で雅楽部は名前だけだったそうですが、信夫山羽黒神社の雅楽サークルに教えていただき現在に至っています。



正月に流れる越殿楽(えてんらく)の楽譜 カタカナで書かれ難解!



「笙」の教本



「龍笛」の教本

「当時は教本もなく口頭のみで伝わっていたので、覚えるのも大変だった。」と部長の仲村克明様は仰っていました。

雅楽部は15名で活動中、いつでも新規部員を募集しています！
住んでいる地域や男女を問わず、一緒に雅楽を楽しみましょう♪



天と地の中間を表す横笛の楽器「龍笛(りゅうてき)」



地の声を表す縦笛の楽器「箏篋(ひちりき)」



天の声を表す高音の楽器「笙(しょう)」



演舞「剣の舞」



指揮者の役割「鞆鼓(かっこ)」と「楽太鼓」